



# 彦根市立中学校の部活動地域移行通信



第2号 令和6年(2024年)1月発行

## 彦根市立7中学校の部活動一覧(令和5年度)

| 運動  | 男バスケット | 女バスケット | 男バレー | 女バレー | 男ハンド | 女ハンド | 男ホッケー | 女ホッケー | 軟式野球  | サッカー  | 陸上競技 | 剣道 | 卓球 | 水泳 | バドミントン | ソフトテニス |
|-----|--------|--------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|----|----|----|--------|--------|
| 東   | ○      | ○      |      | ○    | ○    | ○    |       |       | ○     | ○(中央) | ○    | ○  | ○  | ○  | ○      |        |
| 西   | ○      | ○      | ○    | ○    |      |      |       |       | ○(中央) |       | ○    | ○  |    |    | ○      |        |
| 中央  | ○      | ○      |      | ○    |      |      |       |       | ○(西)  | ○(東)  | ○    | ○  | ○  |    | ○      |        |
| 南   | ○      | ○      |      | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○  | ○  | ○  | ○      | ○      |
| 彦根  | ○      | ○      |      | ○    |      |      |       |       | ○     | ○     | ○    | ○  | ○  |    | ○      |        |
| 鳥居本 |        |        |      |      | ○    | ○    |       |       |       |       |      |    |    |    |        |        |
| 稲枝  | ○      | ○      |      | ○    |      |      |       |       | ○     |       |      | ○  | ○  |    | ○      | ○      |

| 文化  | 吹奏楽 | 美術 | エレクトーン | ボランティア | 科学 | 書道 | 家庭 | 創作 |
|-----|-----|----|--------|--------|----|----|----|----|
| 東   | ○   | ○  | ○      |        | ○  | ○  | ○  |    |
| 西   | ○   | ○  | ○      | ○      |    |    |    |    |
| 中央  | ○   | ○  |        |        |    |    |    |    |
| 南   | ○   | ○  | ○      |        |    |    |    | ○  |
| 彦根  | ○   | ○  |        | ○      |    |    |    |    |
| 鳥居本 | ○   |    |        | ○      |    |    |    |    |
| 稲枝  | ○   | ○  |        |        |    |    |    |    |

令和5年度は、彦根市には、7中学校に約3,060人の生徒が在籍しており、そのうち約86%の約2,630人(中3を含む)(運動部 2,030人、文化部 600人)が部活動に加入しています。

## 部活動の「地域移行」って何？

中学校の部活動を、学校の教育活動から、地域のスポーツ・文化団体等が行う活動に移行していくための環境の整備を進めるものです。国の方針としては、令和5年度から3年間で「休日の部活動の地域移行に向けた改革推進期間」としてあります。

彦根市でも、休日の部活動について、令和3年度から学校や地域と連携を図りながら、体制が整ったところから「地域移行」を進めています。令和6年度も中学校の部活動が無くなるということではなく、学校部活動と地域クラブ活動が併存していくことになります。



## なぜ部活動の地域移行が必要なのですか？

**【課題①】**  
生徒の減少に伴い、学校単位で構成される部活動運営が困難である

- 希望する部活動がない
- 部員数が少なく、休部や廃部になるかもしれない

**【課題②】**  
生徒の減少に伴い、大会出場や活動継続が難しい

- 部員数が少なく、大会に参加できない
- 満足のいく練習ができない

**【課題③】**  
競技経験や指導経験のない教職員が顧問として指導している場合がある

- 生徒が専門的な指導を受けられない
- 教職員の業務負担

**各中学校単位での活動を基本とする部活動から、学校の枠組みを超えて地域に移行することで、持続可能なものにしていく**

**目指す姿**

- 少子化の中でも、将来にわたって子ども達がスポーツや文化活動に親しむことができる機会の確保
- 地域に持続可能で多様なスポーツや文化活動の環境を整備し、子ども達に多様な体験機会の確保

## 彦根市の休日の部活動地域移行の現状は？

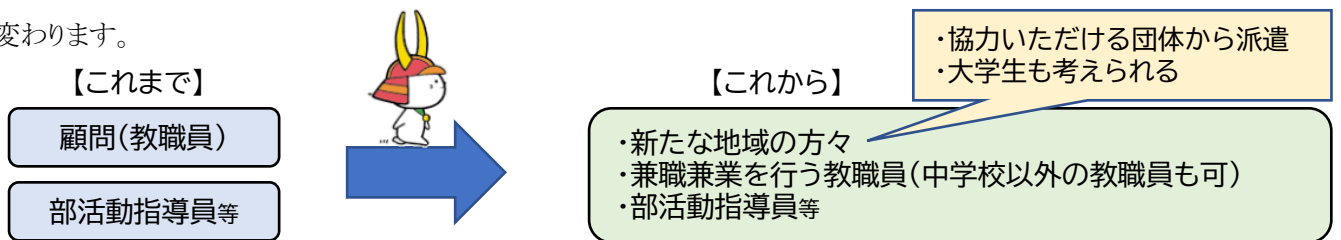
現在は、稲枝中学校の8つの運動部、市内2中学校にある水泳部、市内5中学校にある剣道部で、実証事業として取組を進めています。

## どのように変わっていくの？

- まずは休日の活動において、これまで学校が運営してきた「学校部活動」から、各地域の「地域クラブ活動」へ移行します。将来的には、全国的な流れでは平日の活動も「地域クラブ活動」へ移行する可能性があります。
- 平日はこれまで通りの「学校部活動」、休日は「地域クラブ活動」という形で活動することになります。

## 地域クラブ活動の指導者は誰が？

指導者は、これまで中学校の部活動を支えてきた学校の顧問の先生、部活動指導員の方から、地域クラブ活動の指導者へと変わります。



## 地域移行を行うと考えられるメリット・デメリットは？

### 【メリット】(一部)

- ・専門の指導者など、環境が整った中での活動が進めやすくなる
- ・学校の枠を超えた、余裕のある人数での活動ができやすくなる
- ・たくさんの種目が整えられると、希望する種目が見つかりやすくなる(これまでの部活動種目にとらわれない)

### 【デメリット】(一部)

- ・月謝等の会費(指導料、施設使用料など)が必要となる
- ・学校教育活動外の活動となるため、学校とは別の安全保険に加入する必要がある
- ・通学している中学校とは別の会場での活動となる場合の可能性もあり、その際は送迎なども必要となってくる

## 今後の方向性は？

- 運営主体となる受け皿が整い次第、移行できる地域・移行できるスポーツや文化活動から、部活動の地域クラブ活動への移行を進めていきます。
- 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会(※1)で、活動場所や移動手段、会費や参加費の設定、安全保険加入等の課題を明らかにし、検討を重ね、市、学校、関係機関、各競技団体等と連携しながら進めていきます。
- 国や県の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」を受けて、彦根市としてのガイドラインを策定していきます。

(※1)彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会…生徒にとって望ましい学校部活動に係る環境の構築および生徒の活動の場の確保を図る観点から、学校部活動を地域スポーツ・文化クラブ活動に移行するため、有識者や関係団体が集まって協議・議論する会

### 【問い合わせ連絡先】

彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会  
(事務局)彦根市教育委員会学校教育課 0749-24-7973